

大谷修司*・中野武登**：秋山優先生のご逝去を悼む
 Shuji Ohtani*, Taketo Nakano**：Obituary: Dr. Masaru Akiyama
 (1928-1998) in memoriam.

秋山先生は、1928年12月1日東京都に生をうけられました。1953年北海道大学理学部植物学科をご卒業され、1953年4月から1957年4月まで旭川東高等学校で教鞭をとられた後、1957年5月に島根大学文理学部の助手として赴任され、教育学部の講師、助教授を経て1971年には教育学部の教授に就任されました。1982年4月から2年間教育学部長を務められたほか、附属小学校長、図書館長、評議員、島根県公害対策審議会水質部会長などを歴任されました。藻類学会では、1976-1988までの12年間編集委員、また評議員を1981-1984、1987-1990の計8年間務められました。このように秋山先生は研究はもちろんのこと、教育、大学の運営、地域の発展に大きく貢献されてきました。

秋山先生は、日本の土壤藻類研究のパイオニア的存在であり、研究対象は日本国内だけでなく南極、北極の土壤にまでおよんでいます。1960年には *Fritschilella* を日本から初めて報告され、1965年には日本で初めて北海道から沖縄までの土壤藻類フロラを報告されました。1967年には南極産土壤藻類フロラに関して、培養によって32種を報告されています。1986年には著書「藻類の生態学」の中で土壤藻類の生態について詳しく紹介されており、土壤藻類の生態を研究するものにとって貴重な文献となっています。

秋山先生は、1972年11月に第14次南極観測、夏隊員として参加され、短い滞在期間にもかかわらず、湖底の堆積物、氷雪藻類などについて詳細な研究をされています。さらに、自ら南極に赴かれただけでなく、国立極地研究所の生物医学専門委員を1974年から1991まで17年の間にわたって務められ、南極観測計画に多大な貢献をされました。南極産陸水藻類の分類、生態に先生が果たされた役割は多大で、先生が始められた昭和基地周辺で土壤藻類を用いた環境モニタリングは現在も後進に引き継がれ行われています。

秋山先生は、宍道湖、中海の藻類にも興味を持たれ赴任されてから退官まで研究を続けられました。種の季節変動、年変動、水質環境との関連性に関してほう大な貴重資料が蓄積され、その20数年間にわたる研究



成果は「宍道湖・中海水系の藻類」としてまとめられました。先生の長年の研究により、宍道湖・中海における大きさが10 μ mを越えるような種類についてはほとんどの種組成が明らかとなりました。

1986年以降はアレロパシーに興味をもたれ、水草、コケ、地衣類が藻類の生長を抑制する効果を有すことを報告されており、また、南極のペンギンの巣から採取された糞には藻類の成長阻害作用があることを報告されています。

秋山先生は、とても気さくで、よく講義中も駄洒落を発されたそうです。また、先生が新入生に向かって研究室紹介をされると、多くの学生が先生のお話引引っ張られ理科研究室に集まって来たそうです。先生の研究室は、おびただしい数の文献と書籍があり、壁の全面にぎっしりと詰め込まれており、その中に埋まって研究をされていたお姿が印象に残っています。さらに、秋山先生は音楽に造詣が深く、北大時代から

音楽同好会の指揮者を務められていました。また、日本現代音楽協会に属され、バレエ音楽などを自ら作曲されておりました。先生のお嬢様には音楽に関係のあるお名前をつけておられます。

秋山先生は、ご退官されてから急に体調をくずされ、札幌で療養生活に入りました。奥様をはじめご家族の手厚い看病にもかかわらず、1998年11月11日、急性腎不全のため札幌でお亡くなりになりました。先生のご葬儀では、先生の作曲による「神々のユーカラ(オーボエとピアノのための)」の流れる中、お別れをしました。謹んで秋山先生のご冥福をお祈りします。享年69才。

主要研究業績一覧

著書

1975. 土壤微生物実験法. 土壤微生物研究会編, 養賢堂, 東京, pp.108-125.
 1997. 日本淡水藻図鑑. 広瀬弘幸, 山岸高旺編, 内田老鶴圃, 東京, pp.197-207, 275-362, 838-841.
 1982. 南極の科学7巻. 国立極地研究所編, 古今書院, 東京, pp.180-196.
 1986. 藻類の生態. 秋山優他3名共編, 内田老鶴圃, 東京, pp. 53-80, 371-402.
 1984-1998. 淡水藻類写真集, 1巻~20巻, 山岸高旺, 秋山優共編, 内田老鶴圃, 東京.
 1996. 六道湖・中海水系の藻類. 六道湖・中海の藻類研究会, 高浜印刷, 松江, pp.129.

学術論文

1958. ふたたび北海道産 *Draparnaldiopsis* について. 藻類 6: 75-79.
 1959. 汽水系六道湖にみられるオオイソウの生態. 藻類 7: 71-74.
 1960. 本邦産淡水藻類の数種について. 島根大学開学10周年記念論文集: 98-104.
 1960. 本邦産 *Draparnaldiopsis* にみられる異常形態について. 藻類 8: 53-58.
 1960. - & Hirose, H. A newly found terrestrial alga *Fritschiella tuberosa* Iyengar. Bot. Mag. 73: 365-368.
 1961. Aerial and terrestrial algae in San-in region of Honshu Japan. Sci. Rep. (Nat. Sci.) Shimane Univ. 10: 75-89.
 1961. -, 西上一義. 六道湖および中海の藻類相の生態学的研究II 藻類浸透圧の適応について. 藻類 9: 26-31.
 1962. - & Hirose, H. A new species of *Pectodictyon*. Bot. Mag. Tokyo 75: 140-142.
 1963. 本邦産淡水 Plankton 数種について 藻類 11: 9-16.

1963. Hirose, H. & Akiyama, M. *Pseudotetrademus*, a new genus of Scenedesmeaceae. Bot. Mag. 76: 313-316.
 1965. Verzeichnis der Süßwasseralgen in San-in Region, Japan. Bull. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 14: 92-121.
 1965. Some soil algae from Japan. Bull. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 15: 96-117.
 1966. Hirose, H. & Akiyama, M. The culture of soil algae in Japan. The cultures and collectons of algae. 96-117.
 1966. Soil algal vegetation of r-irradiated field and natural strong radioactive district in Japan. Bull. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 16: 126-134.
 1967. 西上一義, 秋山優, 齊藤真太郎. 中海沿岸の干拓地の植生. 生理生態 (大阪市大) 14: 65-72.
 1967. 広瀬弘幸, 秋山優. 本邦産土壤藻類 *Leptosira terricola* (Bristol) Prints について. 藻類 15: 96-100.
 1967. -, 西上一義. 汽水湖中海沿岸干拓地の土壤藻類植生. 日本生態学会誌 171: 18-121.
 1967. -, 広瀬弘幸. 本邦産気生藻類の1種 *Physolinum monile* (DeWild.)Printz. 藻類 15: 127-131.
 1967. On some Antarctic terrestrial and subterranean algae. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 1: 127-131.
 1968. 南極オングル島産土壤生類目録. 南極資料 32: 71-77.
 1968. - & Segawa, N. An ecological study of some Japanese arial and terrestrial algae. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 2: 19-29.
 1970. Some aerial and soil algae from the Ryukyu Islands. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 3: 24-45
 1970. -, 佐川紀子. 本邦産土壤藻類 *Zygonium* の生態学的特性. 藻類 18: 15-21.
 1970. Some soil algae from the arctic Alaska. Canada and Green land. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 4: 75-89.
 1971. Hirose, H & Akiyama M. A colorless filamentous green alga, *Cladogonium ogishimae* gen. et sp. nov., parasitic on freshwater shrimps. Bot. Mag. Tokyo 84: 137-140.
 1971. 日本産の土壤藻類とその生態. 土地と微生物 13: 17-24.
 1971. On some Brazilian species of Trentepohliaceae. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 5: 81-95.
 1973. Ecological studies on the terrestrial algae found in the coastal sand dune in San-in region, Japan. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.) 7: 33-42.
 1974. 南極リュツオホルム湾沿岸露岩帯の藻類植生(予報). 島根大学教育学部紀要(自然科学) 8: 37-50.
 1975. 南極スカルプスネス船底池のプランクトンと湖底堆積物. 島根大学教育学部紀要(自然科学) 9: 29-42.

1977. - & Hori, T. Some observation on *Planctonema lauterbornii* Schmidle (Chlorophyceae). J. Phycol. 13 (Suppl.): 4.
1977. 南極産の水雪藻について. 藻類 25: 17-24.
1979. Some ecological and taxonomic observation on the colored snow algae found in Rumpa and Skarvsnes, Antarctica. Mem.Natl Inst. Polar Res., Spec. Issue 11: 27-34.
1985. Biogeographic distribution of freshwater algae in Antarctica, and special reference to the occurrence of an endemic species of *Oedogonium*. Mem. Fac. Edu. Shimane Univ. (Nat. Sci.)19: 1-15.
1985. 本邦新発見の淡水藻類プランクトンの数種について. 国立科学博物館専報 18: 89-94.
1986. 渡辺真之・堀輝三・秋山優. *Planctonema lauterbornii* Schmid. における糸状体制の形成. 国立科学博物館報告 12: 107-115.
1986. -, Ohyama, Y. & Kanda H. Soil nutrient condition related to the distribution of terrestrial algae near Syowa Station, Antarctica. Mem.Natl.Inst. Polar Res., Spec. Issue 14: 198-201.
1986. -, Kanda, H. & Ohyama, Y. Allelopathic effect of penguin excrements and guanans on the growth of antarctic soil algae. Mem.Natl Inst. Polar Res., Ser. E 37: 11-16.
1988. -, Ohtani, S. & Kanda, H. Allelopathic interactions as a possible determinant in the structure and composition of Antarctic plant communities. Polarforschung 58: 279-284
1989. Some *Trentepohlia* species from Kathomandu, Nepal Himalaya. Bull. Natl Sci, Mus., Tokyo, Ser. B. 15: 81-90.
1989. -, 國井秀伸. 水草による藻類に対するアレロパシー効果. 水草研究会会報 37:11-16.
1989. -, Kanda, H. & Ohtani, S. Allelopathic effects of Antarctic lichens and mosses on the growth of algae. Proc. NIPR Symp. Polar Biol. 2: 220-222.
1990. -, Hayashi, M. , Matsumoto, G.I. & Miura, K. Plant remains and related substances in the past lacustrine sediments of the Mt. Riiser-Larsen area, Enderby Land, East Antarctica. Proc. NIPR Symp. Polar Biol. 3: 207-217.
1990. Matsumoto, G.I, Akiyama, M., Watanuki, K., Torii, T. Unusual distribution of long-chain n-alkanes and n-alkenes in Antarctic soil. Org. Geochem. 15: 403-412.
1991. Ohtani, S. , Akiyama, M. & Kanda, H. Analysis of Antarctic algae by the direct observation using the contact slide method. Antarctic Record 35: 285-295.
1993. -, Ohtani, S & Nakano, T. Observation on morphology and reproduction of *Scotiellopsis terrestris* (Chlorophyta) from soils in Japan. Hikobia 11:323-328.
- (* 松江市西川津町1060 島根大学教育学部、** 東広島市鏡山1-3-1 広島大学理学部)

